

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 Sacituzumab Govitecan療法					臨床区分	抗癌剤適応分類		登録日	2025年1月8日								
疾患名	乳癌					<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他											
診療科名	乳腺・甲状腺外科								1クール期間	21日								
登録医師名	高橋 寛敏								実施回数	/回								
適応	化学療法歴のあるホルモン陰性かつHER2陰性の手術不能または再発乳癌																	
Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
1	アセトアミノフェン錠500mg	1	錠	経口			day1	—	—	—	—	day8	—	—	—	—	—	制吐剤投与と同時に内服 ※内服不可の場合は医師に確認
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること	
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン	30min	●					●						
	パロノセトロン静注用0.75mg	1	瓶															
	デキサート注射液 6.6mg	1	管															
	ファモチジン注20mg	1	管															
	ポラミン注5mg	1	管															
4	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン	180min	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	※初回180min、2回目以降60minで投与可 ※調製後25℃以下で8時間または2～8℃で24時間以内に投与を完了すること ※投与中は輸液バックの遮光が必要 ※濃度は1.1mg/mL～3.4mg/mLの範囲になるよう生食量を調整すること（レジメン備考欄参照） ※投与終了後はルートをフラッシュし、30分の経過観察を行うこと	
	トロデルピ点滴静注用	10	mg/kg															
5																		

備考欄
★タキサン系薬剤の使用歴を確認すること
濃度調整に関しては10mg/kgで投与する場合、最大体重85kgまでは生食250mLバックを使用することが可能。適宜溶解用の生食を体重、減量にあわせて100mLまたは500mLに変更する事

減量・中止基準
添付文書参照

文献
ASCENT試験